

篠木地域幸せづくり活動プラン
～健康で明るく住みよい
地域づくりを進めよう～

私たちの地域（地域の概要）

私たちの地域は、長い歴史を持つ神社仏閣や篠木神楽など伝統を重んじる風土と豊かな水資源に育まれた水田地帯として栄え、明治6年に市内初の公立篠木小学校が開校し、多くの人材を世に送り出しています。

地域には、大釜駅、多目的研修センターなどの公共施設が設置され、住民の利便性の向上につながっています。



目指す！
地域の姿

伝統的な文化を継承し、

豊かな人材を育てる里 篠木

☆篠木地域づくり懇談会
(篠木自治会)

【計画期間：平成27年度～平成34年度】

1 地域の宝物

私たちの地域には、自然・歴史・文化に育まれた伝統芸能・食文化・景観・自然環境など、みんなで守り育て、次の世代に継承したい宝物があります。



篠木小学校



篠木神楽



大釜駅とスマイルハート
あいさつ運動事業



しりとりフェンス



篠木跨線橋と岩手山



馬頭観音堂



清雲院



田村神社と杉・桂の古木



石川啄木の妻・節子の碑



篠木ウォークラリー



篠木冬まつり



篠木冬まつり（ミズキ団子）



敬老会（芋の子会）



篠木夏まつり

2 地域情報

私たちが暮らしている地域の人口・世帯数・年代別人口や産業別人口、地域の様々なサービス施設の情報を地域のみならず共有し、私たちの幸せ地域づくり活動に活用しましょう。

■ 篠木地域の情報

		篠木地域		滝沢市		摘要	
		人(世帯)	割合	人(世帯)	割合		
1	人口	1,388	2.5%	55,170		H26.10末	
2	世帯数	550	2.5%	21,931		H26.3末	
	高齢者世帯	100	18.2%	3,947	18.0%	(全市から自衛隊等を除く)	
	うち高齢者1人世帯	57	10.4%	2,135	9.7%		
3	産業別人口	680	2.6%	26,478		H22 国勢調査	
	1次産業	61	9.0%	1,374	5.2%		
	2次産業	131	19.3%	5,683	21.5%		
	3次産業	488	71.8%	19,421	73.3%		
4	年代別人口	1,388	2.6%	54,207		H26.10末 (全市から自衛隊等を除く)	
	すこやか世代	0~5	62	4.5%	2,561		4.7%
	学び・成長世代	6~17	168	12.1%	6,735		12.6%
	自立世代	18~34	285	20.5%	10,086		18.6%
	子育て世代	35~49	304	21.9%	11,419		21.1%
	充実世代	50~64	274	19.7%	11,491		21.2%
	円熟世代	65~	295	21.3%	11,915	22.0%	

■ 篠木地区公共施設情報（※印のあるところは指定避難所です。）

施設名	住所	連絡先	施設名	住所	連絡先
※篠木小学校	篠木中屋敷 60	687-2064	JR大釜駅	篠木明法 22-16	699-1171
※多目的研修センター	篠木鳥谷平 52	684-2632	盛岡西警察署 大釜駐在所	大釜八幡前 117-2	687-2843
滝沢市消防団 第二分団屯所	篠木黒畑 135-1		大釜駅前コミュニ ティセンター	篠木明法 22-16	699-1171

3 私たちの地域の課題

私たちが住み続けていくためには、生活環境を維持・向上を目指して、地域が主体となって地域の課題を解決するとともに、地域と行政が連携して取り組む必要があります。

地域整備の課題（地域と行政が連携し取り組む課題）

- ▶ 1. 大釜駅からの歩行者優先通学路の確保が必要です。
- ▶ 2. 大釜駅前にぎわいの創出を図る必要があります。
- ▶ 3. 防災関係の環境整備が必要です。
- ▶ 4. 篠木跨線橋の改修（歩道ロードヒーティングを含む）が必要です。
- ▶ 5. 安心して子どもを産み育てることのできる環境の整備が必要です。

地域活動の課題（地域で取り組む課題）

- ▶ 1. 通学路の安全の確保に努めます。
- ▶ 2. 大釜駅前にぎわいづくり事業の展開を検討します。
- ▶ 3. 自主防災組織と高齢者・要支援者の見守り活動の推進に努めます。

4 幸せづくり計画

① 地域づくりの基本方針

私たちの地域の目指す姿を実現するために、住民・自治会・関係団体などと行政が連携・協働して、地域づくりを推進していきます。

基本方針 1

田村神社などの名所を守り、篠木の伝統を継承し、地域内の交流や文化活動の活性化を図ろう

- ▶ 1. 子どもが、カワシンジュガイやホタルなど自然に親しめる環境保全に取り組みます。
- ▶ 2. 景観よく住みよい篠木地域づくりにつながるルール作りを検討します。
- ▶ 3. 篠木坂周辺を「歴史の坂」として旧道の活用と併せ地域で学ぶ機会を設けます。
- ▶ 4. 篠木神楽の保存伝承のため、保存会、自治会や学校も含めた支援体制を検討します。
- ▶ 5. 越前堰を、土地改良区とアドプト協定に基づき地域全体で守り、草刈りや植栽の管理などの活動に取り組みます。

基本方針 2

地域交流の場として、大釜駅や篠木小学校を中心に活用を図り、にぎわいのあるコミュニティをつくろう

- ▶ 1. 大釜駅前のにぎわいづくりを目的に、青空市の開催を検討します。
- ▶ 2. 新規転入者への訪問などを行い、自治会が中心となりコミュニティ醸成を図ります。
- ▶ 3. 子ども会の資源回収活動に協力します。
- ▶ 4. 地域協働で見守り体制を確立し、安心安全な篠木地域をつくります。
- ▶ 5. 子育て世代のネットワークづくりを支援します。
- ▶ 6. 四季折々の行事を通じ、活発な交流で「絆」を深めます。

基本方針3

通学路を中心に道路環境を整備し、子どもやお年寄りが安全に過ごせる地域にしよう

- ▶ 1. スクールガードをはじめ、地域で安心安全に取り組めます。
- ▶ 2. 安心安全な地域をめざし1世帯1灯運動の展開を図ります。
- ▶ 3. 子どもやお年寄りを含めた歩行者の安全確保のため、通学路などの草刈り、ゴミ拾いを地域協働で取り組めます。

4 幸せづくり計画

②地域の幸福環境要素と活動モデル

私たちの地域で幸せに暮らすために、各世代が幸福実感一覧表から象徴的要素・象徴指標を選択し、幸福を実感できる地域を実現するための活動モデルとそれを推進する活動団体・組織を明らかにします。

☆すこやか世代（0～5歳）

- ①幸福感を育む象徴的要素
 - i（子どもに）みんなが笑顔で接してくれること
 - ii（子どもに）良い食習慣が身についていること
- ②象徴指標
 - i 子どもと一緒に過ごす時間（1週間）
 - ii 家族一緒に食事をする回数（1週間）
- ③活動モデル
 - i 親などが、子どもに読み聞かせをする
 - ii 家族一緒に笑顔で食事をする
- ④どのように具体的に取り組むか
 - i 多目的研修センターの図書室の充実と活用
 - ii 食事のときテレビの音量を小さくしてみる
- ⑤活動団体・組織
子ども会育成会、食生活改善推進委員、自治会 ほか

☆学び・成長世代（6～17歳）

- ①幸福感を育む象徴的要素
（子どもが）楽しい学校生活を過ごせること
- ②象徴指標
（子どもの）仲の良い友だちの数
- ③活動モデル
その日の出来事を家族で話す
- ④どのように具体的に取り組むか
食事のときテレビの音量を小さくしてみる
- ⑤活動団体・組織
子ども会育成会、PTA、自治会 ほか

☆自立世代（18～34歳）

- ①幸福感を育む象徴的要素
地域の皆さんと交流の機会があること
- ②象徴指標
地域のお祭りや行事に参加した回数
- ③活動モデル
地域の方に挨拶をし、地域の方の名前と顔を覚える
- ④どのように具体的に取り組むか
笑顔であいさつを交わす
- ⑤活動団体・組織
自治会、まちづくり推進委員会 ほか

☆子育て世代（35～49歳）

- ① 幸福感を育む象徴的要素
子どもたちが地域で遊んだり、学んだりする機会に恵まれていること
- ② 象徴指標
参加したいと思える地域行事の数
- ③ 活動モデル
家族で会話をしたり、近所の子どもと顔見知りになる
- ④ どのように具体的に取り組むか
子どもと話すときは、しゃがんで目線を合わせる
- ⑤ 活動団体・組織
まちづくり推進委員会、PTA、自治会 ほか

☆充実世代（50～64歳）

- ① 幸福感を育む象徴的要素
自ら学び、趣味や地域活動に積極的に取り組める機会があること
- ② 象徴指標
趣味や特技を披露できる機会が地域にある人の割合
- ③ 活動モデル
自分の趣味や特技と一緒にできる仲間を持つ
- ④ どのように具体的に取り組むか
地域のイベントに参加し交流を深める
- ⑤ 活動団体・組織
夏祭り実行委員会、自治会 ほか

☆円熟世代（65歳～）

- ① 幸福感を育む象徴的要素
心身ともに元気になれる趣味や活動を通して、地域に役立つ機会があること
- ② 象徴指標
地域に役に立つ機会を持っていると感じている人の割合
- ③ 活動モデル
自治会活動など地域活動に積極的に参加する
- ④ どのように具体的に取り組むか
健康ウォークラリー、老人クラブ・ゆいっこ会・いきいきサロンなどの活動に参加する。
- ⑤ 活動団体・組織
保健推進員、老人クラブ、ゆいっこ会、いきいきサロン、自治会 ほか

地域の幸福環境要素と活動モデル一覧表

ライフ ステージ	幸福感を育む 象徴的要素	象徴指標	活動モデル	どのように具体的 に取り組むか	活動団体 ・組織
すこやか世代 (0～5歳)	i (子どもに) みんなが笑顔で接してくれること ii (子どもに) 良い食習慣が身についていること	i 子どもと一緒に過ごす時間 (1週間) ii 家族一緒に食事をする回数 (1週間)	i 親などが、子どもに読み聞かせをする ii 家族一緒に笑顔で食事をする	i 多目的研修センターの図書室の活用 ii 食事のときテレビの音量を小さくしてみる	子ども会育成会、食生活改善推進委員会、自治会ほか
学び 成長世代 (6～17歳)	(子どもが) 楽しい学校生活をすごしていること	仲の良い友だちの数	その日の出来事を家族で話す	食事のときテレビの音量を小さくしてみる	子ども会育成会、PTA、自治会ほか
自立世代 (18～ 34歳)	地域の皆さんと交流の機会があること	地域のお祭りや行事に参加した回数	地域の方に挨拶をし、地域の方の名前と顔を覚える	笑顔であいさつを交わす。	まちづくり推進委員会、自治会ほか
子育て世代 (35～ 49歳)	子どもたちが地域で遊んだり、学んだりする機会に恵まれていること	参加したいと思える地域行事の数	家族で会話をする。近所の子どもと顔見知りになる	子どもと話すときはしゃがんで目線を合わせる	まちづくり推進委員会、PTA、自治会ほか
充実世代 (50～ 64歳)	自ら学び、趣味や地域活動に積極的に取り組める機会があること	趣味や特技を披露できる機会が地域にある人の割合	自分の趣味や特技を一緒に出来る仲間を持つ	地域のイベントに参加し交流を深める	夏祭り実行委員会、自治会ほか
円熟世代 (65歳～)	心身ともに元気になれる趣味や活動を通して、地域に役立つ機会があること	地域に役に立つ機会を持っていると感じている人の割合	自治会活動など地域活動に積極的に参加する	健康ウォークラリー、老人クラブ・ゆいっこの会・いきいきサロン等の活動に参加する	自治会、保健推進員、老人クラブ、ゆいっこの会、いきいきサロンほか

5 私たちのあゆみ
(活動記録)

私たちが「滝沢地域デザイン」をもとに2000年から地域の資源を活用し、地域の課題を解決するために、地域のみなさんとの連携・協働によって様々な地域づくりに取り組んできました。その活動記録を私たちのあゆみとしてまとめました。

年月日	主要な活動の記録
2005年〔H17年〕	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ビジョンの学習・雪灯り事業（田村神社） ・あいさつ運動とあいさつ通り設置（スマイルハート）
2006年〔H18年〕	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ運動標語募集（篠木小学校） ・越前堰用水路看板取付・雪灯り事業（大釜駅前）
2007年〔H19年〕	<ul style="list-style-type: none"> ・越前堰土地改良区とアドプト協定締結 ・村民体育祭綱引き競技小学生の部で優勝 ・資源ごみ「ストックヤード」設置
2008年〔H20年〕	<ul style="list-style-type: none"> ・村民体育祭綱引き競技小学生の部で連覇 ・健康づくり講座実施（H22まで継続）
2009年〔H21年〕	<ul style="list-style-type: none"> ・啄木の妻・節子の歌碑建立（篠木小学校内） ・篠木小学校を会場に防災訓練実施（170名参加） ・自治会女性部発足
2010年〔H22年〕	<ul style="list-style-type: none"> ・村内一斉「街頭交通安全のぼり旗作戦」実施 ・東日本大震災義援金募金実施 ・自治会として多目的研修センター周辺草刈業務受託 ・岩手看護短期大学と共催で篠木ウォークラリー開催
2011年〔H23年〕	<ul style="list-style-type: none"> ・「いきいきサロン」に統合し毎月2回開催 ・村民体育祭綱引き競技中学生の部で優勝
2012年〔H24年〕	<ul style="list-style-type: none"> ・古着による被災地支援（約1トンの善意集まる） ・わんぱく広場及びその周辺の防犯活動実施

2013年〔H25年〕	・滝沢市立篠木小学校区テクテクマップ作成・配布
	・地域健康づくり連絡会の開催
2014年〔H26年〕	・自治会創立45周年式典、記念誌発行

篠木地域づくり懇談会

篠木自治会役員、しのぎ夢まちづくり推進委員会、老人クラブ、衛生指導員、保健推進員、食生活改善推進委員、衛生指導員、見守りボランティアグループ、篠木小学校PTA、民生児童委員、消防団、JA女性部、篠木神楽保存会、夏祭り実行委員会、地域住民（順不同）